

高松市水環境基本計画第2期実施計画 進捗管理シート

【達成率算出方法】  

$$\frac{(H28実績値 - H26基準値)}{(H28目標値 - H26基準値)} \times 100$$

- 【達成率評価基準】
- A 達成率100%以上
  - B 達成率80%以上100%未満
  - C 達成率50%以上80%未満
  - D 達成率0%以上50%未満
  - E 達成率0%未満（マイナス）

基本方針	施策番号	施策	取組事項	指標	指標の説明	担当課	第1期計画		第2期計画目標値				単位	H28実績	H28取組状況	目標に対する達成率	評価	評価がC以下の場合はその理由
							H26実績	H27実績	H28	H29	H30	H31						
基本方針1 身近な水環境の意識の強化	1.1.1	啓発活動の強化	水道使用量の縮減	1人1日当たり水道平均使用水量	年間有収水量（水道料金収入のある水量）を、給水人口と年間日数で割った市民1人1日当たりの平均使用水量を示したものです。平成6年の異常洪水時以降の最低値である301リットルより、さらに少ない量を目標としています。減少が望ましい指標です。	政策課水環境対策室	301	301	300	300	300	300	L	303	「我が家の水がめづくり」の周知・啓発や、水に関する啓発イベントの開催等により、節水意識の向上に寄与しました。	-200.0%	E	夏季に漏水に見舞われたものの、年間を通して好天に恵まれたことなどにより、水道使用量が増加したと考えられます。
	1.1.1	啓発活動の強化	節水キャンペーンの実施	平成26年度キャンペーン同期と比較した水道使用水量減少率	「節水キャンペーン」の節水取組期間（毎年度6～9月）において、平成26年度との比較で水道使用水量が減少した割合を示しています。減少が望ましい指標です。	政策課水環境対策室	基準年度	(±0)	(-0.5)	(-0.5)	(-1)	(-1)	%	(0.1)	水道週間、水の日、水の週間などの機会を捉え、水に関する啓発イベントの開催等により、節水意識の向上に寄与しました。	-20.0%	(E)	夏季に漏水に見舞われたものの、年間を通して好天に恵まれたことなどにより、水道使用量が増加したと考えられます。
							15,689千㎡	15,690千㎡	15,610千㎡	15,610千㎡	15,532千㎡	15,532千㎡		15,711千㎡	-27.8%	E		
	1.2.1	学校等での環境教育の推進	水環境に関する学習機会の確保	「香川用水の水源地の旅事業」参加中学校の割合	香川県主催の「香川用水の水源地の旅事業」に参加する中学校の割合を示しています。子ども達の水源地への理解を深め、水の大切さを学ぶ学習機会として、毎年度実施していきます。 *平成28年度末の市内中学校数23校	学校教育課	19/23	17/23	2/3以上	2/3以上	2/3以上	2/3以上	-	17/23	市内の中学生が参加を計画し、水源ダムや関連施設等を活用した体験型学習を通して、水環境への関心を高め、節水や水質保全などの実践行動につなげていき		A	
	1.2.2	生涯学習の場における環境教育の推進	環境に関する出前講座等の開催	受講者数	市が実施する環境に関する毎年度の出前講座の受講者数を示しています。現況値の2,146人から参加者の上積みを目指します。	環境保全推進課	2,146	2,611	2,180	2,220	2,260	2,300	人/年	2,210	環境学習支援事業（出前講座）のほか、瀬戸内海の環境保全について学ぶ磯の生物観察会などの講座を実施しました。	188.2%	A	
	1.2.2	生涯学習の場における環境教育の推進	生涯学習センター等における環境学習講座の開催	受講者数	生涯学習センターやコミュニティセンターでの毎年度の環境学習講座の受講者数を示しています。平成26年度は期間を限定して取組を強化したため、毎年度概ね3,500人程度の参加を目指します。	生涯学習課生涯学習センター	6,361	8,693	3,350	3,400	3,450	3,500	人/年	5,386	生涯学習センターやコミュニティセンターにおいて、環境問題学習を内容とした講座（うち、水問題学習については、2回、18人）を開催し、市民の環境に関する意識の啓発を図りました。	681.7%	A	
2.1.1	水道施設の整備	自己処理水源の確保	自己処理水比率	各年度の平均給水量に占める自己処理水源の割合を示したものです。将来的に50%とすることを目標としています。	上下水道局浄水課	43.7	44.9	45.1	45.3	45.3	45.3	%	45.0	夏季の少雨傾向の影響により自己処理水源の状況が厳しく、県営水道の増量を行いました。	92.9%	B		
2.1.1	水道施設の整備	配水管の更新推進	配水管布設替延長	毎年度の老朽化などに伴う水道配水管の平成22年度からの延べ布設替（更新）延長です。（）内は、単年度ごとの目標数を示したものです。配水管の老朽度、耐震性、重要度、費用対効果などを踏まえ、計画的な更新に努めていきます。	上下水道局水道整備課	(7,035)	(8,472)	(8,260)	(6,320)	(5,750)	(7,550)	m	(10,103)	老朽铸铁管及び老朽ビニル管・延長10,103mの更新を行いました。	122.3%	(A)		
						35,264	43,736	50,934	57,254	63,004	70,554		53,839	118.5%	A			
2.1.1	水道施設の整備	漏水の防止	漏水率	水道の年間配水量に占める配水管等からの年間漏水量の割合を示したものです。漏水率を毎年度4.8%以下にすることを目標としています。減少が望ましい指標です。 *平成25年度の中核市で最も悪い漏水率14.0%を達成率0%、4.8%を達成率100%と置く。	上下水道局維持管理課	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	%	4.2	市内を市街地区とその他の地区に分け、市街地区は2分割して2年毎、その他の地区は3分割して3年毎に戸別音聴・路面音聴等を行っています。		A		

高松市水環境基本計画第2期実施計画 進捗管理シート

【達成率算出方法】  

$$\frac{(H28実績値 - H26基準値)}{(H28目標値 - H26基準値)} \times 100$$

- 【達成率評価基準】
- A 達成率100%以上
  - B 達成率80%以上100%未満
  - C 達成率50%以上80%未満
  - D 達成率0%以上50%未満
  - E 達成率0%未満（マイナス）

基本方針	施策番号	施策	取組事項	指標	指標の説明	担当課	第1期計画		第2期計画目標値				単位	H28実績	H28取組状況	目標に対する達成率	評価	評価がC以下の場合はその理由
							H26実績	H27実績	H28	H29	H30	H31						
基本方針2 水循環の健全化	2.1.3	鉛管対策の推進	鉛製給水管の取替推進	鉛製給水管残存率（平成17年度の残存件数を100とした場合の割合）	鉛製給水管の残存率について、毎年度の減少目標を示しています。（）内は、年度ごとの減少率です。健康に影響を及ぼす可能性が懸念される鉛の水道水への溶出を防止するため、計画的・効率的な解消に努めます。減少が望ましい指標です。	上下水道局 維持管理課	(-2.6)	(-2.7)	(-4)	(-4)	(-4)	(-4)	%	(-4)	各種工事に合わせて鉛製給水管引替工事を実施するとともに、鉛管引替工事助成金交付制度について周知し、その活用を啓発することなどにより、鉛製給水管の解消に積極的に取り組みます。	100.0%	(A)	他の公共工事による取替件数が減少しています。
							75.2	72.5	65.8	62.3	58.9	55.5		69.8		57.4%	C	
	2.2.1	雨水貯留施設の整備	雨水貯留施設設置助成制度の実施	雨水利用促進助成金制度等を利用して設置された施設数	平成9年度に創設された雨水利用促進助成金制度を利用して設置された雨水貯留施設数と、同年度に創設された浄化槽の雨水貯留浸透施設改造成金を利用して、雨水貯留タンクに改造された浄化槽数の合計です。	上下水道局 給排水設備課	78	65	110	110	110	110	件	53	広報紙及びホームページを通じて、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を行いました。		E	助成制度の周知・啓発に努めてきたが、雨水貯留は利用者の利益に繋がりにくいことから、補助金の申請件数が、目標件数の約48%にとどまりました。
	2.2.2	水の再利用促進	下水処理水再生水の利用促進	下水処理水再生水利用施設数	東部下水処理場及び牟礼浄化苑からの下水処理水再生水の供給を受けている施設数です。	上下水道局 下水道整備課	(-1)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	施設	0	現在62施設へ再生水の供給を行っており、引き続き、下水処理水再生水の有効利用を図るため、現供給区域内において、新たな利用施設の増加を図っていきます。		(E)	
								61	62	62	62	63	63		62		A	
	2.3.1	水源地・水源林の保全	フォレストマッチング推進事業	参加団体の活動日数	手入れが必要で提供できる森林情報を森づくり活動に関心がある企業等に提供し、参加と経費負担による協働の森づくり活動です。年度内の参加団体の活動日数です。	農林水産課	6	10	8	8	8	8	日	8	森づくり活動に関心のある6団体に対し市有林等を提供し、技術的交流を通じて協力しました。		A	
	2.3.1	水源地・水源林の保全	「いざ里山」市民活動支援事業の推進	活動支援参加団体数	市内に点在する里山保全の取組を支援する「いざ里山」市民活動支援事業による、毎年度の活動団体数です。引き続き、里山保全活動面積の拡大を目指します。	農林水産課	9	4	6	8	9	11	団体	6	新たに募集した2団体を加え、6団体の里山整備・保全活動に対し支援しました。		A	
	2.3.2	地下水の涵養	透水性舗装の整備推進	透水性舗装の整備面積	各年度に実施した市街地の歩道部における透水性舗装面積を示しています。毎年400～500㎡の事業実施を目指します。（）内は単年度ごとの実施目標面積です。 ※平成26年度は、対象となる事業がなかったため、実績は0であるが、過去の実績はH23年度1,194㎡、H24年度644㎡、H25年度728㎡でした。	道路整備課 道路管理課	(0)※	(614)	(400)	(400)	(500)	(500)	㎡	(1,102.2)	平成28年度は高松海岸線（屋島工区）及び仏生山円座線において施工しました。	275.6%	(A)	
							52,927	53,541	53,800	54,200	54,700	55,200		54,643		196.6%	A	
2.4.1	汚水処理施設の適正管理	全市域汚水処理普及率	汚水処理人口普及率	下水道、浄化槽など生活排水処理施設の整備状況を表す指標で、本市総人口に対する生活排水処理施設整備人口の毎年度の目標増加割合を示したものです。（）は、単年度ごとの目標増加割合です。	上下水道局 給排水設備課	(0.5)	(0.4)	(0.6)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	%	(0.6)	1,009基の合併処理浄化槽の設置経費に助成を行い、この内178基の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換については、上乗せ助成を行うことにより合併処理浄化槽の整備促進が図れ、結果として、汚水処理人口普及率が上昇し、目標を達成しました。	100.0%	(A)		
							84.9	85.3	85.9	86.4	86.9	87.4		85.9		100.0%	A	

【達成率算出方法】  

$$\frac{(\text{H28実績値} - \text{H26基準値})}{(\text{H28目標値} - \text{H26基準値})} \times 100$$

- 【達成率評価基準】
- A 達成率100%以上
  - B 達成率80%以上100%未満
  - C 達成率50%以上80%未満
  - D 達成率0%以上50%未満
  - E 達成率0%未満（マイナス）

基本方針	施策番号	施策	取組事項	指標	指標の説明	担当課	第1期計画		第2期計画目標値				単位	H28実績	H28取組状況	目標に対する達成率	評価	評価がC以下の場合はその理由
							H26実績	H27実績	H28	H29	H30	H31						
基本方針3 良好な水辺環境の創出	3.1.1	生活排水対策の推進	公共下水道への接続促進	公共下水道接続率	公共下水道処理区域内戸数に占める下水道接続戸数の割合について、毎年度の増加目標率を示しています。()内は、単年度ごとの目標接続率です。水環境の現状についての認識を高めてもらおうとともに、接続推進の取組を行い、下水道未接続世帯の解消を図ります。	上下水道局 給排水設備課	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.3)	%	(0.2)	未接続世帯への定期的な戸別訪問を実施し、下水道接続に支障となる問題解決に向けた助言・指導を行った結果、目標値を達成しました。	100.0%	(A)	
							90.9	91.1	91.3	91.5	91.7	92.0		91.3		100.0%	A	
	3.1.1	生活排水対策の推進	家庭における生活排水対策	廃食油収集量	毎年度において、家庭から排出される、使用済み及び消費期限切れの廃食油を、収集ステーションで回収した量です。飼料や粉石けんなどに再生します。	くらし安全安心課	6,696	6,408	6,984	6,984	6,984	6,984	L	6,732	水質汚染の防止を図るため、環境業務センター及び22か所のコミュニティセンターに持ち込まれた家庭用廃食油の収集を、高松市消費者団体連絡協議会及び各地区コミュニティ協議会に委託実施しました。	96.4%	B	
	3.1.3	河川・ため池・海域の浄化対策の推進	河川の環境基準の達成	河川の環境基準の達成率(BOD)	市内10河川12水域において環境基準を達成した水域の割合を示したものです。目標値は、高松市環境基本計画によるものです。	環境指導課	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	%	66.7	水質測定計画に沿って、公共用水域の水質監視を行いました。市内10河川12水域中8水域で環境基準を達成し、環境基準の達成率は目標値どおりの66.7%となりました。		A	
	3.2.3	住民の憩いの場としてのため池整備	ため池の水辺空間の環境整備	「ため池守り隊」市民活動取組箇所数	適正な管理が困難となっているため池の保全活動に地域住民が参加する「ため池守り隊」市民活動支援事業に取り組んでいるか所数を示しています。平成31年度までに、20か所程度で取り組むことを目標としています。	土地改良課	15	16	17	18	19	20	か所	19	用途地域内のため池について、関係土地改良区及び現在の取組団体に周知を行ない、事業の拡大を図った。	200.0%	A	
	4.1.1	適切な渇水対応の実施	渇水対応の実施	渇水時の節水目標達成率	渇水による給水制限期間中の配水量実績合計値と、給水制限時に上下水道局が設定する節水目標水量合計値の割合を示したものです。節水目標が設定された場合のみ有効な指標であり、達成率100%を目標とします。最近の実績では、平成25年度が101.2%でした。	上下水道局 企業総務課	-	-	100	100	100	100	%	101.7	平成28年夏季渇水対応計画に基づき、取水制限の段階に応じた減圧給水の強化やホームページによる渇水情報の提供、公用車への節水啓発ステッカー取付等、各種節水広報を実施しました。		A	
	4.2.1	施設の耐震化の推進	浄水処理施設耐震化	浄水施設能力に対する耐震化施設能力の割合	毎事業予定年度の浄水場延べ処理能力に対する耐震化済みの施設能力の目標増加割合を示しています。()内は、単年度ごとの目標増加割合です。	上下水道局 浄水課	(0)	(22.7)	(0)	(0)	(18.2)	(0)	%	(0)	浅野浄水場緩速系浄水施設の耐震化工事を施工しています。	100.0%	(A)	
							0	22.7	22.7	22.7	40.9	40.9		22.7		100.0%	A	
	4.2.1	施設の耐震化の推進	水道基幹管路耐震化	基幹管路総延長に対する耐震・準耐震管延長の割合	毎事業予定年度の水道の基幹管路(導・送水管及び400mm以上の配水管)の総延長に占める、耐震適合性のある管の総延長の目標増加割合を示しています。()内は、目標とする当該耐震化率です。	上下水道局 水道整備課	(0.3)	(0.3)	(0.4)	(0.3)	(0.4)	(0.7)	%	(1.4)	配水管布設・布設替工事延長11,613mを実施しました。	350.0%	(A)	
							37.5	37.8	38.5	38.8	39.2	39.9		39.2		170.0%	A	

高松市水環境基本計画第2期実施計画 進捗管理シート

【達成率算出方法】  

$$\frac{(H28実績値 - H26基準値)}{(H28目標値 - H26基準値)} \times 100$$

- 【達成率評価基準】
- A 達成率100%以上
  - B 達成率80%以上100%未満
  - C 達成率50%以上80%未満
  - D 達成率0%以上50%未満
  - E 達成率0%未満（マイナス）

基本方針	施策番号	施策	取組事項	指標	指標の説明	担当課	第1期計画		第2期計画目標値				単位	H28実績	H28取組状況	目標に対する達成率	評価	評価がC以下の場合はその理由
							H26実績	H27実績	H28	H29	H30	H31						
基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進	4.2.1	施設の耐震化の推進	下水管きよ耐震化	管きよ総延長に対する耐震化済み管きよ延長の割合	毎事業予定年度の下水管きよ全体延長に占める、耐震化済み新設管きよ延長の割合を示しています。()内は、単年度ごとの目標増加割合です。	上下水道局 下水道整備課	(0.4)	(0.4)	(0.5)	(0.4)	(0.5)	(0.4)	%	(0.3)	下水管きよの新設及び改築・更新時に、耐震性を確保した管きよの整備を計画的に行いました。	60.0%	(C)	事業の一部を翌年度に繰越したため。
							35	35.4	35.9	36.3	36.8	37.2		35.7	77.8%	C		
	4.2.1	施設の耐震化の推進	下水道施設の耐震化	下水処理場・ポンプ場のうち、耐震化した割合	毎事業予定年度の下水処理場・ポンプ場（昭和56年5月31日以前に工事着手した建築物で、非木造2階建て以上又は延べ床面積200㎡超の施設）のうち、耐震化が図られている施設の当該耐震化率を示しています。()内は、単年度ごとの目標増加割合です。	上下水道局 下水道施設課	(0)	(0)	(16.6)	(16.7)	-	-	%	(33.3)	牟礼浄化苑の管理棟及び滅菌棟の耐震補強工事が完了したため、本実施計画の目標を達成しました。今後は平成9年7月以前に設計された未診断の土木構造物及び建築構造物の耐震診断を順次行っていきます。	200.6%	(A)	
							66.7	66.7	83.3	100.0	100.0	100.0		100	200.6%	A		
	4.3.1	雨水対策の推進	雨水対策の推進	雨水対策整備率	毎事業予定年度の下水道事業計画区域内において、雨水による浸水対策が講じられた面積の当該整備率を示しています。()内は、年度ごとの目標増加割合です。	上下水道局 下水道整備課	(0.2)	(0)	(0.3)	(0)	(0)	(0.3)	%	(0)	中心市街地及び周辺市街地の浸水対策として、パイパス幹線やポンプ場の整備を計画的に行いました。	0.0%	(D)	事業の一部を翌年度に繰越したため。
							48.5	48.5	48.8	48.8	48.8	49.1		48.5	0.0%	D		
	4.3.2	津波・高潮対策の推進	防護堤防施設の整備	I期前期の整備率	毎年度の「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、特に優先度の高い箇所について整備するI期前期津波高潮対策事業の進捗率です。()内は、年度ごとの目標進捗率です。	河港課	-	-	(10)	(30)	(30)	(30)	%	(6.2)	庵治港 地質調査 N=5箇所	62.0%	(C)	関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内の事業の完了が不可能となったため
								10	40	70	100	6.2		62.0%	C			
4.3.3	ため池・水田等の保全・活用	中山間地域等直接支払制度の活用支援	活用した農地面積	毎年度の中山間地域などの耕作条件が不利な地域で、集落協定を結んで農地の保全活動を行う事業に対して支援を行う「中山間地域等直接支払制度」を活用した面積です。	農林水産課	378	279	300	300	300	300	ha	281	51集落、参加農家数717戸、面積約281haにおいて、中山間地域等直接支払事業を実施しました。	93.7%	B		
4.3.3	ため池・水田等の保全・活用	耕作放棄地の活用	耕作放棄地再生利用面積	毎年度の耕作放棄地を農地として再生利用した面積です。毎年度2～3haの再生利用を行うことを目標としています。()内は、各年度ごとの目標面積です。	農林水産課	(1.7)	(0.2)	(3)	(2)	(2)	(2)		ha	(1)	耕作放棄地再生利用の取組は2件で、計99aを再生し、キウイフルーツの栽培を開始しました。	33.3%	(D)	農業者の高齢化等による農地の貸付け希望の増加により、担い手農家が新たに耕作放棄地を再生してまでも規模拡大を図る必要性が低下しているため。
						13.1	13.3	16.3	18.3	20.3	22.3	14.3		37.5%	D			
4.3.3	ため池・水田等の保全・活用	小規模なため池の防災対策事業の推進	実施ため池数	防災上危険なため池について、小規模ため池防災対策特別事業を適用し、ため池機能の見直しを行います。()内は、各年度において安全対策を図った件数です。	土地改良課	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	か所	(2)	土地改良区から同事業の実施要望を受け、地域内で合意形成が図れたため池について、事業着手を行いました。	100.0%	(A)		
						3	5	7	9	11	13		7	100.0%	A			
及び持続可能な水の方針の利活用	5.2.2	地球温暖化緩和策としての水循環システムの検討	省エネルギーの推進	エネルギー原単位（上水道）	1㎡の水道水を供給するのに必要な電力量です。省エネルギーの取組より数値が小さくなります。	上下水道局 浄水課	0.171	0.171	0.17	0.169	0.168	0.167	kWh/㎡	0.171	再生可能エネルギー施設が効率よく発電できるよう、改修工事を施工しています。	0.0%	D	四国電力との契約により、再生可能エネルギー施設の運転が制限されたため
	5.2.2	地球温暖化緩和策としての水循環システムの検討	省エネルギーの推進	エネルギー原単位（下水道）	1㎡の汚水を処理するのに必要な電力量です。省エネルギーの取組により数値が小さくなります。	上下水道局 下水道施設課	0.437	0.421	0.43	0.425	0.42	0.415		kWh/㎡	0.427	プラント設備の改築やバイオマス発電を実施したことにより、省エネルギー化が進みました。	142.9%	